

2022 世界ベテラン選手権大会派遣選手 第2回選抜選考会

競技要項

1. 主催：公益社団法人 日本フェンシング協会
担当 生涯スポーツ・ベテラン部会
2. 協力：東京都フェンシング協会 世田谷区フェンシング協会
3. 開催日程：2022年6月4日(土)～5日(日)
競技種目4日 男子エペ(A/B/C)、男子フルレ(B)、女子エペ(A/B/C)
競技種目5日 男子サーブル(A/B/C)、男子フルレ(A/C)、女子サーブル・女子フルレ(A/B/C)
※ 年齢・カテゴリー別の集合時刻・競技開始時刻については、参加人数決定後に公表します。。
4. 会場：東京都世田谷区大蔵 第2運動場体育館
世田谷区大蔵4-7-1(東京都立砧公園西側)
 - ◇ 東京田園都市線二子玉川駅発(玉31)成城学園前駅行き 15分→「大蔵第2運動場」下車0分
 - ◇ 小田急線成城学園駅南口発(渋44)渋谷駅行き 10分→「NHK 技術研究所」下車5分
 - ◇ 東急田園都市線用賀駅下車 タクシー7分
5. 実施種目・年齢カテゴリー：
 - ◇ 男女・個人戦 F/E/S 3種目
 - ◇ 年齢カテゴリー (A) :50歳～59歳 (B) 60歳～69歳 (C) 70歳以上
※年齢基準日は2022年12月31日現在とする。
6. 参加資格:次の条件を満たす者
 - ◇ 日本国籍を保有すること。
 - ◇ (公社)日本フェンシング協会の会員登録(2022年度)を完了していること。
(2021年度の登録では適用できない。)
7. 出場申込手続き：
 - (1) 申込は以下のウェブサイトから指定の(forms.gle)に記載し送信すること。
<https://forms.gle/Kwb5UdasMbAb4YBx9> 折り返し登録確認メールが送信されます。
 - (2) 申込者は1種目6,000円、2種目で11,000円、3種目で16,000円を当日会場受付で支払う事。
 - (3) 帯同コーチ(選手1名につき1名まで)は上記(1)の申込のみ行う。

8. 申込受付期間：

- ◇ 2022年5月2日(月)～2022年5月27日(金)(日本時間24時)まで。5月28日以降の申込は受け付けない。
- ◆ 出場取消・棄権は速やかに以下にメールで報告すること。
※ E-mail 送付先：fencing.veterans@gmail.com 「ベテラン選考会担当あて」

9. 競技方式等：

上記5.の年齢カテゴリー(A)(B)(C)別および種目別に、予選(1回戦)は3分間5本先取のプール戦、その後はトーナメント戦(ED)で、3分間2回10本先取を行う。但し各年齢カテゴリーの参加選手数により、試合方法を変更する場合がある。変更は当日技術委員会(DT)より通知する。なお、準決勝(ベスト4)においては3位決定戦を実施する。

5位以下は予選(プール戦)の成績と勝者勝ち残り(ED)でこの選考会の順位を決定する。

- (1) 競技規則は、2022年1月以降発効のFIE規則最新版を適用する。
- (2) 但し、用具服装については以下の扱いとする。(以下は2022年3月26日～27日に開催された全日本ベテラン選手権と同内容)
 - ◇ 2021年12月2日付日本フェンシング協会(ルール・審判委員会)通達による「FIE用具規定(m)の変更に伴う大会の適用について(補足)」(2022年1月1日から適用)に謳われている以下の内容を適用する。2022年度からは基本的にシニアの用具規定を適用する。
[参照: 65f617e1f063abbbad3b107ea82ef582.pdf \(fencing-jpn.jp\)](https://www.fencing-jpn.jp/65f617e1f063abbbad3b107ea82ef582.pdf)
 - ◇ 世界選手権派遣選考会では前記通達におけるシニアの用具規定を推奨するものであるが、協会通達に付記された「ジュニア・カデについての規定」に基づく用具でも本選考会での出場を認める。
 - ① 剣の強度・指定について、用具規定はシニアの用具規定が適用されるが、ブレードについては従来のブレードも使用可とする。「従来のブレード」には、FIE認定マークが無いもの、Maraging鋼でない鋼鉄製ブレードも含む。
 - ② ユニフォーム(上下) 350N以上またはFIE公認マーク付き(800N)
 - ③ 半袖プロテクター FIE公認マーク付き(800N)
 - ④ マスク FIE公認マーク付き(1600N)
 - ⑤ サーブルグローブ FIE公認マーク付き(800N)
 - ⑥ ボディコード FIEルール(プラグは透明なもの)
 - ⑦ エペコードソケット FIEルール(ソケット内のコードを通す穴は2つ)なお、本戦(世界ベテラン選手権大会)に出場する場合にはこの通達による「ジュニア・カデについて」の用具規定は適用されない。
- (3) 本選考会では、2019年世界ベテラン選手権大会(エジプト・カイロ市)で個人戦3位以上の成績選手は当該種目においてシード選手として、2回戦EDより1位シードとして組合せを行う。

10. 本競技会は派遣選手選抜が目的のため、表彰状・メダル授与は行わない。

11. 競技に関わる新型コロナウイルス対策については添付別紙を参照のこと。

以上

【参考】世界ベテラン選手派遣ランキングポイント等について

●派遣候補選手の最終ランキングの決定：

派遣選手(各種目・年齢カテゴリー別に最大4名まで)は第1回第2回の選考会の通算総合順位により指名する。総合順位は、各選考会における獲得ポイントの合計で集計し、決定される。

第1回、第2回の選考会順位による獲得ポイントは次表のとおり。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位 ～	17位 ～
獲得ポイント	26	20	16	12	10	8	6	4	2	1

【個人戦総合順位の決定方法】

総合第1位 → 第1回選考会(3月25日・26日の2022年全日本ベテラン選手権)の最上位者

総合第2位 → 第2回選考会(6月4日・5日を予定)の最上位者

※なお、第1回選考会(本年3月開催全日本ベテラン選手権)の年齢カテゴリー別種目優勝者が当選考会に参加する場合、総合順位第1位の資格を失う。但し、獲得ポイントは維持し、2回の選考会の合計獲得ポイントで総合順位が決定される。

総合第3位以下：

- i) 第1回と第2回の獲得ポイント合計の多い者を上位とする。
- ii) i)のポイント合計が同点の場合、成績上位獲得者を上位とする。
- iii) i)とii)が同じ場合、第1回選考会の成績上位者を上位とする。

以下同様に計算し、16位までの全順位を決定する。

【派遣選手の決定】

●個人戦出場者の決定：

各カテゴリー別の上位者4名は、別途指定する日までにFIEへの選手登録を行い、参加意思確認を生涯スポーツ・ベテラン部会へ通知すること。勤務などの事情で出場辞退者がある場合、順次総合順位5位以下の選手に順次、出場可否を打診する。出場可の回答を得た選手にFIE選手登録を依頼する。出場者氏名は8月下旬の協会理事会で承認を得て最終決定とする。協会から大会組織委及びFIEに出場者氏名登録を行う。(通常大会開催日の1ヶ月前が登録期限)

●団体戦出場者の決定：

団体戦出場者(種目別、3カテゴリーより2名計6名で1組)は原則として、各カテゴリーの総合順位第1位および第2位の選手とする。総合順位第1位および総合順位第2位の選手が辞退した場合は、団体戦出場者は現地で世界選手権個人戦の成績上位の選手を優先する。

以上

【派遣選考会要項 別紙コロナ対策】

<世界ベテラン選手権派遣選考会における感染症予防対策等について>

表記については、選手・コーチ・競技役員(審判員・DT委員・事務局他)全員が対象となります。ここに記載する対策は4月末時点の新型コロナ感染症対応を前提に設定しています。今後、厚生労働省のコロナ感染症に対応する内容が変わる場合には、必要に応じてこの要項別紙を変更して大会1週間前(5月26日前後)に申込された選手の登録メールアドレスあてに変更内容をご案内します。

選手・役員の方々は、以下の記載事項をご理解の上、出場参加に向けてご準備下さい。

1. 「競技場ではマスクを常時着用」

試合中を除き**不織布マスクの着用**をお願いします。体育館内では、競技開始前用具の準備・ウォームアップ、終了後の用具片付け、待機の場合にもマスクを着用して下さい。紛失する場合に備えて予備のマスクをご準備下さい。

2. 選手・コーチの入場について

入場については、**選手・コーチ・審判員・競技役員**についても以下の内容を適用します。

(1) 会場(大蔵第2運動場体育館)入場時の検温 → 体育館入口に体温測定器があります。

(2) 会場の選考会受付で、次の**証明書・証明**をご提示下さい。

① 地方自治体・病院等の発行する新型コロナウイルス感染症の**ワクチン接種券(3回目)**または同感染症・**3回目の予防接種証明書の提示**(または証明書等の写真(スマホ等)の提示。

② 抗原検査を受検もしくは自身で実施された場合の映像(写真)による結果の提示

→ 感染が「陰性」で確認された方は、競技会場へ。

→ 感染症が**陰性ではない場合、不明な場合は抗原検査受検を別室で行います**。係員が案内します。(時間は1件15分の予定。費用は個人負担 1,500 円となります。

結果が「陰性」ではない場合、は体育館への入場はできません。

(3) 会場(体育館)入口受付で、再度検温します。体温が 37.5℃超でなければ、受付では登録リストに種目別に「コール済」を記録して入場して頂きます。

3. 飛沫防止対策

(1) 競技中は競技用マスク内側に、①**飛沫防止用マスク(不織布マスクなど)・覆い**、または②**プラスチックのフェイスシールド**を着装してください。

(2) フェイスシールドは競技用マスク前面の下部30%以上を覆うものをご使用願います。

(3) 上記(1)のマスク・シールド等は試合では必ず装着願います。試合中に着けてないことが発覚した場合、1回目はイエローカード、2回目レッドカードの罰則があります。

4. 体育館内について

- (1) この競技会は「無観客」として開催します。出場登録した選手・コーチ以外は入場できません。
- (2) コーチ・監督を帯同する場合は、個別に参加申込の様式(forms.gle)で事前登録が必要です。
- (3) 館内では試合時以外は常時マスク(不織布)の着用をお願いします。
- (4) 体育館内で練習を行う場合、交替しながら密集を避けて練習してください。
- (5) 館内へ出入り時には必ず手指の消毒をお願いします。
- (6) 待機する場所においては椅子と椅子の距離は最低1mの間隔を取って下さい。
- (7) 会場内には、飲料水、スポーツドリンク等の持ち込みは可としますが、食べ物は持込できません。

5. 競技中の注意

- (1) 試合中に汗を拭く場合は、必ずピストに近い場所に自分専用のタオルを準備しておき、審判に確認後、使用してください。ユニフォーム袖・グローブなどで汗を拭かないこと。
- (2) 試合中、試合後に大声で叫ぶことはできません。警告後、イエローカード、レッドカードの対象となります。ピストの周辺で競技マスクを外して叫ぶこともお断りします。
- (3) 競技終了時の挨拶(salutes)では、マスクを取ってから両選手の剣と剣の交差をもって行うものとします。(握手は不要)。
- (4) 試合終了後、ピストに備え付けの消毒スプレーでベンチ周りの消毒にご協力ください。
- (5) トーナメント戦の際に、ベンチ周辺から試合を撮影する場合は、スタンド(脚立)を使用して下さい。プール戦ではカメラ・スマホ等の撮影は不可とします。また通信機器の使用は、選手・コーチとも競技規則違反として罰則の対象となります。
- (6) 競技中に必要となる用具(予備の剣・コード、タオル)、器具(ドライバー・レンチ等)などはピスト・ベンチの近辺で取りやすい場所に置いて、審判の許可のもとに選手自身が交換および使用に行くこととします。(周囲の人に依頼すると、用具・器具を経由する接触感染の可能性があります。) 剣・ボディコード・マスクなどの道具、レンチ・スパナなどの用具の貸し借りは行わないで下さい。

6. その他

男子更衣室・女子更衣室の利用に際しては同時に使用する人数(4~5名)を確認して利用して下さい。

新型コロナウイルスの影響による大会中止の判断について

- * 今後、新型コロナウイルス、変異株ウィルスの蔓延・拡散によるクラスター状況が続き、オーバーシュート(爆発的な感染者の急増)の場合、公共施設側からの会場使用禁止、運営者の判断により、大会直前でも中止せざるを得ない場合もあることを、予めご承知おき下さい。

以上